

# 金沢医科大学 氷見市民病院

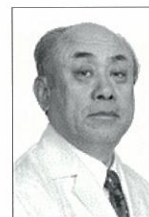


- 平成21年度経営方針
- 副院長、病院長補佐紹介
- 新看護部長、看護部副部長紹介
- 院内研修会（第1回CPC, 第1回看護研究発表会）
- 第1回セラピーコンサート開催
- 平成21年度常勤医師紹介
- 脳神経外の診療体制
- 新病院建設に向けて
- 金沢医科大学との連携

## 平成21年度 経営方針

最高経営責任者 (CEO) 竹越 襄  
 病院長 高島 茂樹

平成20年4月に金沢医科大学が指定管理者として氷見市民病院を運営してから1年が経過しました。職員をはじめ関係者の方々のご支援により、地域の基幹病院として氷見市の地域医療に携わることができました。まだまだ課題は山積していますが、平成21年度はこの1年間の実績を基に、さらに地域医療の発展に貢献したいと思います。今年度の病院運営の取り組みの一端をご紹介します。



竹越 襄 CEO



高島茂樹病院長

- ・医師、看護師の確保(大学間連携の推進、職場環境の充実、魅力ある教育体制)
- ・専門医療の推進(心臓手術の実施)
- ・病診連携の推進(地域医療連携部の強化)
- ・救急体制の整備(大学、医師会等との連携)
- ・人材の育成(計画的な職員研修体制の確立)
- ・医療安全の推進(安全体制の向上)
- ・教育・研修体制の充実(研修医、看護師、医学生、看護学生等の積極的な受け入れ)
- ・医療機器の整備(更新機器の整備、専門医療の対応)
- ・広報活動の推進(広報誌の充実、フォーラムの開催)
- ・新病院の建設(院内ヒアリングの実施、基本設計、実施設計)

## 副院長、病院長補佐紹介

### 〈副院長〉

木越 俊和 (内分泌・代謝科、内分泌代謝制御学特任教授)

齋藤 人志 (一般・消化器外科臨床教授)

泉 洋一 (循環器内科特任教授)

伊藤澄美子 (看護部部長)

木村 晴夫 (事務部部長)

### 〈病院長補佐〉

神田 享勉 (総合診療科、地域医療学教授)

坂本 滋 (胸部心臓血管外科特任教授)

## 新看護部長、看護副部長紹介

### 〈看護部長〉



伊藤 澄美子

### 〈副部長〉



西 朝子

教育担当



山田 啓子

総務  
患者サービス担当

小島 ひとみ

業務担当

## 看護部長挨拶

看護部長 伊藤 澄美子

4月より、前看護部長の定年退職に伴い、新しく看護部長に就任しました。世の新年生は期待と希望に胸膨らませてスタートを切りましたが、ピカピカでもない私は、今改めて任務の重さに身の引き締まる思いで一杯です。未曾有の百年に一度といわれる世界不況の中、医療界も例外でなく、生き残りを賭けて頑張らないと淘汰される時代になりました。患者さんから選ばれ、信頼される病院になるために私達にできることは何か、皆で考え実行していく必要があります。「考えよう 整えよう 拡げよう」これは2年前の手術室看護学会年次大会のコンセプトです。実行委員だった私は、この言葉が強く印象に残っていました。今の私が伝えたいのは、「考」専門職としてもう一步考え、看護力を発揮しよう、「整」職場環境の整備や業務改善に取組み、魅力ある職場づくりをしよう、「拡」看護師の仕事や役割りを外部に発信し仲間づくりをしようです。それによって教育が充実し看護の質が向上する、自分達の病院を愛し働き続ける、看護職を理解してもらい看護師確保に繋げる、これらは全て患者サービスに直結しており、地域に根ざした病院にとって重要な要素です。さらにワークライフバランスの実現に向けて真剣に取り組むたいと考えています。『CHANGE Yes We Can』流行語で終わるのではなく実践していきましょう。本院との交流も含め、新病院建設という素晴らしい展望に夢をもって看護部一丸となり良い病院にしていきたいと思います。ガンバレ！病院 頑張ろう！看護部。

最後に、開かれた部長室として、いつでも、誰でも訪室を待っています。

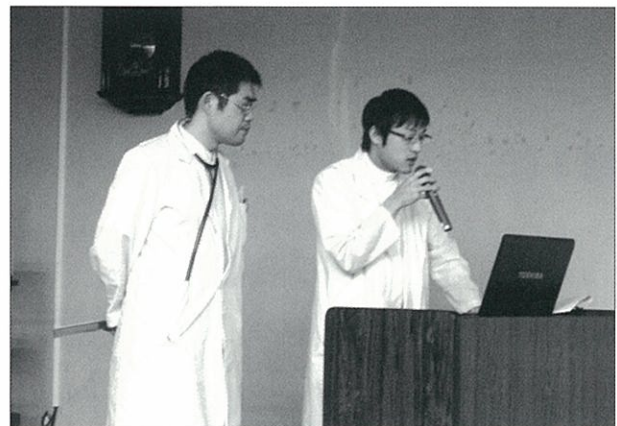
## 院内研修会

### 第1回 CPC (臨床病理検討会)

平成21年2月18日(水)に本院講堂においてCPC(臨床病理検討会)が開催されました。本検討会は入院中の臨床経過と病理学的検討を照らし合わせることで、臨床では解明が困難であった病態を明らかにするとともに、今後、同様の病態が考えられた場合の診断・治療に役立てるために深く検討を行います。今回は臨床研修医と主治医が症例提示を行い、金沢医科大学臨床病理学教室の先生方、氷見市医師会の先生方および病院スタッフなど多数の方々の参加のもとで検討会を行いました。

今回の検討例は70歳代の患者さんです。腫瘍の末期状態でしたが食事摂取の準備も整い退院を計画していたところ、退院の直前にお亡くなりになりました。何らかの急変の可能性も否定できないため病理学的な検討を行っていただきました。臨床病理学教室での検討では、重篤な肺炎や心筋梗塞などはみられず、原因疾患の腫瘍の拡大および周囲への浸潤や転移がみられることより腫瘍による終末期であったものと診断されました。臨床病理学教室の先生方との討論では、より詳しい既往歴や臨床経過についての検討を行い、また外科系の先生からは「腫瘍の進展により血管閉塞をきたしていなかったか」など、それぞれの専門分野に関する詳細な質疑応答が行われ有意義な検討会となりました。今後も本検討会を継続し日常診療に役立てていきたいと思っております。

(腎臓内科 斎藤淳史)



第1回臨床病理検討会

## 平成20年度 第1回 看護研究発表会

21年2月13日(金)、院内講堂において平成20年度第1回看護研究発表会が開催されました。

約70名の看護職員が参加し、各所属から6席の発表がありました。研究メンバーは日頃の忙しい業務のなか1年がかりで身近なテーマや新しい試みの研究を発表し、参加したスタッフからも興味深く活発な質疑応答が行われました。今回の研究を日々を活かし、患者さんに、より良い看護を提供できたらと思います。

今年度から金沢医科大学氷見市民病院としてスタートしたことで、看護業務全般についても学術が重要視されるなか、今回の研究発表は充実したものになったと思います。今後も院内外での発表を期待したいと思います。

(看護部 中田千鶴)



発表会風景

- |  |                |
|--|----------------|
| 1. 弾性ストッキング着用における現状と今後の課題                      | 2病棟1階 新井直美     |
| 2. 褥瘡リスクが高い患者に対する予防策の検討 一事故報告となった一事例の振り返りを通して一 | 2病棟2階 西岡真須美    |
| 3. 退院調整のプロセスの変更に伴う看護師の意識の変化                    | 2病棟3階 曾場麻由美    |
| 4. その人らしさを支える支援の在り方                            | 2病棟4階 竹田紀子     |
| 5. 外来のストレスとその要因 一インシデントレポートに関する意識調査一           | 外来部門 服部博美      |
| 6. K病院血液浄化センターにおけるスタッフの変化と課題                   | 血液浄化センター 宮本ひろみ |

## 第1回 セラピーコンサート開催

2月21日(土)リハビリテーション部訓練室にて、金沢医科大学で解剖技師として勤務されている、井高晋平(しんぺい)さんによる、「ピアノ弾き語り・セラピーコンサート」が開催されました。

「愛燦燦」「千の風になって」など、約10曲をピアノ弾き語りで披露されました。歌の合間には、患者さんと共に「ふるさと」を合唱するコーナーや、2月誕生日の入院患者さん6人の方へ一人ずつ、(しんぺいさん)からお花と歌のプレゼントがありました。

今回、心を癒すことを目的に開催されましたが、院内外から参加された方々から「寒い季節に温かい気持ちになりました」「すばらしい歌声に元気ができました」と喜んでいただきました。今後もいろいろな内容を企画し、患者さんに喜んでいただけるように開催していきたいと考えています。



井高晋平さん

(総務課 雨池ゆかり)

平成21年度 常勤医師紹介 (2009年7月現在)

 <p>循環器内科 たけこし のぼる <b>竹越 襄</b> (最高経営責任者)</p> <p>日本内科学会功労会員、日本循環器学会名誉会員、日本集中治療医学会功労会員、日本臨床生理学会評議員・監事、日本エム・イー学会顧問・名誉会員、日本老年医学会指導医</p>	 <p>一般・消化器外科 たかしま しげき <b>高島 茂樹</b> (病院長)</p> <p>日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会認定医・指導医、日本大腸肛門病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医</p>	 <p>内分泌・代謝科 きごし としかず <b>木越 俊和</b> (副院長・教授)</p> <p>日本内科学会認定内科医、日本内分泌学会内分泌代謝専門医・指導医、日本糖尿病学会専門医</p>
 <p>一般・消化器外科 さいとう ひとし <b>斎藤 人志</b> (副院長・教授)</p> <p>日本外科学会認定医・指導医・専門医、日本消化器外科学会認定医・指導医、日本消化器病学会専門医、消化器外科専門医制度委員会専門医</p>	 <p>循環器内科 いずみ よういち <b>泉 洋一</b> (副院長・教授)</p> <p>日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本高血圧学会指導医、日本内分泌学会専門医・指導医、人間ドック学会認定医</p>	 <p>総合診療科 かんだ つぎやす <b>神田 享勉</b> (病院長補佐・教授)</p> <p>日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本プライマリ・ケア学会認定医</p>
 <p>胸部心臓血管外科 さかもと しげる <b>坂本 滋</b> (病院長補佐・教授)</p> <p>日本外科学会認定医・指導医・専門医、日本胸部外科学会認定医・指導医、日本心臓血管外科学会専門医、日本循環器学会専門医、日本心臓ペースンク・電気生理学会研修証認定医、(ICD, CRT 植込み認定医)</p>	 <p>腎臓内科 さいとう あつし <b>齋藤 淳史</b> (講師)</p> <p>日本内科学会認定医、日本透析医学会専門医、日本腎臓学会専門医</p>	 <p>内分泌・代謝科 こにし かずのり <b>小西 一典</b> (講師)</p> <p>日本内科学会認定内科医</p>
 <p>高齢医学科 いしがみ けいいちろう <b>石神 慶一郎</b> (助教)</p>	 <p>総合診療科 なせがわ まさゆき <b>長谷川 真之</b> (助教)</p>	 <p>小児科 いとう まさつね <b>伊藤 順庸</b> (講師)</p> <p>日本小児科学会専門医、PALA Provider</p>
 <p>小児科 やまもと あきこ <b>山本 晃子</b> (医師)</p>	 <p>一般・消化器外科 たなか ゆみこ <b>田中 弓子</b> (講師)</p> <p>日本外科学会専門医、日本乳癌学会認定医、日本癌治療認定医、健診マンモグラフィ読影認定医</p>	 <p>一般・消化器外科 なせがわ たいすけ <b>長谷川 泰介</b> (助教)</p> <p>日本外科学会専門医</p>
 <p>一般・消化器外科 くろだ まさとし <b>黒田 雅利</b> (助教)</p> <p>日本外科学会専門医</p>	 <p>胸部心臓血管外科 くざわ としか <b>九澤 豊</b> (准教授)</p> <p>日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医、日本胸部外科学会認定医</p>	 <p>整形外科 たかだ ひでお <b>高田 秀夫</b> (講師)</p> <p>日本整形外科学会整形外科専門医、日本リウマチ学会リウマチ認定医、日本整形外科学会リウマチ医</p>
 <p>整形外科 わたなべ きみまさ <b>渡部 公正</b> (講師)</p> <p>日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本体育協会認定スポーツドクター</p>	 <p>整形外科 なかなみ あき <b>中波 暁</b> (助教)</p> <p>日本整形外科学会整形外科専門医</p>	 <p>産婦人科 うらた かずひこ <b>浦田 和彦</b> (医師)</p> <p>日本産婦人科学会専門医</p>

(次頁へ続く)

平成21年度 常勤医師紹介 (続)

 <p>脳神経外科 たかた ひさし 高田 久 (准教授) 日本脳神経外科学会専門医、 日本脳卒中学会専門医、 日本脳神経血管内治療学会専門医</p>	 <p>脳神経外科 くろうち まなぶ 倉内 学 (准教授) 日本脳神経外科学会専門医</p>	 <p>脳神経外科 くさば えいそう 草場 栄三 (助教)</p>
 <p>皮膚科 わたなべ せいじ 渡邊 晴二 (講師) 日本皮膚科学会認定専門医、 日本医心筋学会認定専門医</p>	 <p>眼科 なかに ゆうすけ 中谷 雄介 (准教授) 日本眼科学会専門医、PDT 治療認定医、ボトックス治 療認定医、視覚障害者用補 装具適合判定医</p>	 <p>耳鼻咽喉科 すずか ゆうこ 鈴鹿 有子 (教授) 日本耳鼻咽喉科学会専門医</p>
 <p>歯科口腔外科 まつい としあき 松井 俊明 (准教授)</p>	 <p>臨床研修医 しまだ としつぐ 島田 俊嗣</p>	 <p>臨床研修医 うすみ じゅん 宇佐見 潤</p>
 <p>臨床研修医 みずの たくろう 水野 宅郎</p>		

**脳神経外科の診療体制**

脳神経外科の常勤医は3月から3名となり、高田 久准教授、倉内 学准教授、草場栄三助教の3名体制で毎日外来診療しております。

これまでは外来診察は月、水、金曜のみで患者さんをずいぶんお待たせしましたが、3月から土曜日を含め毎日診療できる体制が整いました。また外来は2つの察室を開いておりますので、予約のない患者さんや新患の方でも迅速に対応できるようになりました。(脳神経外科 高田 久)

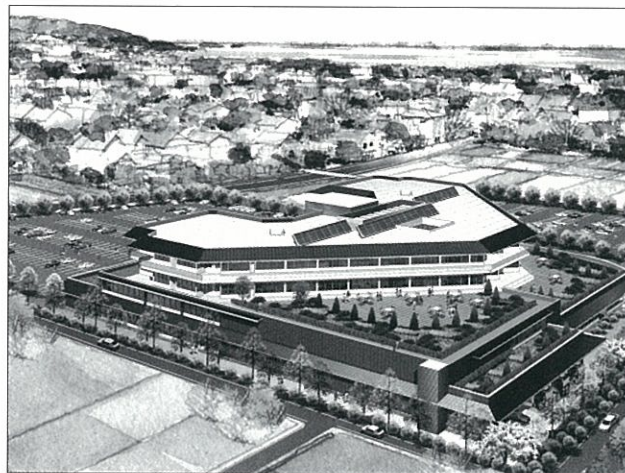
## 新病院建設に向けて

### 新病院建設 設計会社 (株)山下設計に決定

能越自動車氷見ICと現病院との中間に位置する鞍川地内に建設される新病院の設計業務について、昨年12月に設計プロポーザルが行われ、学校法人金沢医科大学および氷見市で検討された結果、株式会社山下設計が「金沢医科大学氷見市民病院移転新築工事」の設計会社として選考されました。

新病院は、一般急性期病棟および回復期リハビリ病棟を有する地域密着型の病院として生まれ変わる予定で、現在、病院内には「新病院建設準備室」が設置され、今回の設計監理会社の決定を受け、今後、建設計画は大きく進んでいくこととなります。

(新病院建設準備室 亀井淳平)



新病院パース

#### 【(株)山下設計 設計チームの紹介】

「私どもが成すべきことは、継続性や持続性を包含した、患者さんやスタッフ、そしてこの地域にとって[かけがえのない病院]を創り出すことだと考えています。どうぞよろしくお願いします」。

 <p>統括責任者 新井 一治</p> <p>謙虚に、そして熱い思いで、設計に当たりたいと考えています。</p>	 <p>金沢事務所所長 常廣 正和</p> <p>全国組織である弊社の利点を最大限に活かした業務運営を実現したいと考えています。</p>	 <p>意匠担当主任技術者 海老原 悟</p> <p>積極的な提案と合意形成を十分に行いながら業務に取り組みます。</p>
 <p>構造担当主任技術者 立川 淳</p> <p>安全性と快適性を両立させた、経済合理性の高い設計を心がけます。</p>	 <p>機械設備担当主任技術者 山崎 正</p> <p>最新のシステムを提案しながら、環境共生型の施設を目指したいと考えています。</p>	 <p>電気設備担当主任技術者 菊池 尚</p> <p>医療、治療、執務それぞれの環境に対し、最適且つ信頼性に配慮したシステムを実現したいと考えています。</p>

#### 【今後のスケジュール(予定)】

今後は下記のスケジュールによって設計、施工が進められ、平成23年度の開院を目指しています。

基本設計完了 H21.6 —— 詳細設計完了 H21.12 —— 建設開始 H22.4 —— 竣工・稼働 H23年度

## 金沢医科大学病院との連携

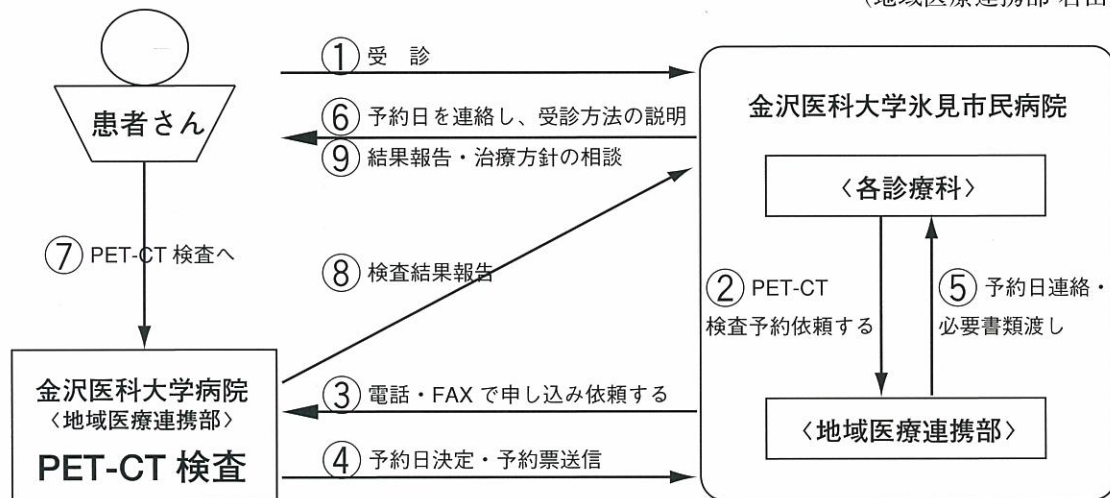
# PET-CT 検査

金沢医科大学病院と連携してスムーズにPET-CT検査を受けることができます。

以前は、PET-CT検査を受けるためには、市外または県外の医療機関で受診しなければなりませんでした。4月からは金沢医科大学病院で検査を受けられるようになりました。これにより患者さんは手続きなどの負担が軽減し、スムーズに検査を受けることができます。

PET検査とは、多量のブドウ糖を消費するがん細胞の性質を利用し、放射性同位元素をブドウ糖に標識した薬剤(FDG)を注射し、がん細胞などの“高まった代謝状態”を画像化して診断するものです。さらに同時に撮影したCT検査と重ね合わせることで、全身の「がん」のありかを正確に探る最先端のがん画像診断法です。他の画像診断でわかりにくい「がん」も見つけることが可能であり、がんの進行度、転移、治療効果、再発も診断可能です。

(地域医療連携部 石田あかね)



### 〈PET-CT 検査を受けるにあたっての注意事項〉

- ・受診前にお渡しする〈PET-CT 検査の前処置および注意事項〉を必ずお読みください。
- ・ペースメーカー装着の方は検査できない場合があります。(メドトロニック社製の場合)
- (料金) 保険適用される場合の費用は、3割負担でおよそ3万円程度です。

※検査ご希望の患者さんは、主治医にご相談ください。

### 編集後記

#### 広報委員会発足

平成21年2月13日に第1回広報委員会が開催されました。委員会は、医局2名(内科1名、外科1名)、看護部2名、薬剤部1名、中央臨床検査部1名、リハビリテーション部1名、栄養部1名、中央放射線部1名、地域医療連携部1名、事務部2名の12人で構成されています。このような多職種のスタッフが集まっていますので、様々な話題を提供できるような気がしています。委員会の発足を機会に、当院を利用していただく皆様に少しでも役立つ広報誌・楽しんでいただける広報誌となるように活動していきたいと考えております。読んでいただく皆様、参加していただくスタッフの皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。(広報委員会委員長・腎臓内科 斎藤淳史)

募集：広報誌表紙写真を募集します。病院内外問わず、皆様のご応募をお待ちしております。

問合せ先：金沢医科大学氷見市民病院総務課 ☎ 0766-74-1900 (内線 293)

E-mail: kmu-himi@kanazawa-med.ac.jp